

平成26年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立和佐小学校
作成日	平成27年3月10日

1 教育目標

心身ともに健康で、人間性豊かな実践力のある子どもを育てる。

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、保護者や地域に対して、文化発信の拠点として積極的に情報発信を行ってほしい。教育活動を公開することが信頼される学校・開かれた学校につながる。 ・地域は子どもたちのため、しっかり学校を応援し協力していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの地域を知り、関わっていく活動が郷土を愛し誇りに思う心を育む。今後も続けてほしい。 ・子どもたちの優しさを育み、感性を豊かに育てる教育が人権意識を育てる。教師は「命の大切さ・いじめは決して許さない」という意識を強くもって子どもたちを指導してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体で、学力向上に向けた取り組みを行っている。続けてほしい。 ・どの学級も落ち着いた授業風景である。資料を準備している学級も多く内容がよく分かる。 ・基本的な生活習慣を身に付けることは、学力だけでなく子どもたちが自立していく上でも大切な取り組みである。

取組の状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりやホームページ・おしらせ文・メール連絡を通して学校の様子を発信するのは大変よい。地域の回覧板の活用もよかった。学校だよりは、これからも支所・郵便局・農協に置いてほしい。地域の方にも広く学校のことを知らせる機会となる。 ・地域にも配布した「パトロール中」のステッカーを自転車等に取り付けてくださる方が増えてきた。子どもたちの安全を守るため協力していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの心の荒廃や規範意識の低下が大きな問題となっている。社会生活の基本は挨拶である。しかし、最近、挨拶のできない児童が増えてきている。挨拶を交わすことから、心が通い合い心身の状態も判断できる。児童会が校門に立ちあいさつ運動を行う取り組みはとても良い。家庭・地域・学校が協力して挨拶運動を更に活発に進めて行かなければならない。 ・子どもたちが地域に出向いたり、地域の方から指導を受けたりする取り組みは意義がある。 ・これからも、すべての教育活動の中で心を育てる教育に取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の指導力向上が直接子どもたちの成長につながる。学級経営や授業の工夫・改善に今後も学校全体で取り組んでほしい。 ・価値観が多様化し、複雑な家庭環境の中で育つ児童も多い。子どもたちが真の学力・生活力を身に付けられるよう、持続可能な取り組みをお願いする。 ・学校は読書活動に熱心に取り組んでくれていて、テレビやゲームから離れ、活字に親しむ時間を子どもたちには大切にしてほしい。しかし、全く興味を示していない児童も少なくない。家庭の協力の必要性を感じる。
検証結果に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりやメール連絡などで学校の情報を発信できていた。郵便局などに置いている学校だよりを楽しみにしている地域の方も多し。学級だよりや学年だよりでは、より具体的な子どもたちの様子を発信していただけたら嬉しい。 ・地域の方や団体・福祉施設の皆さんと交流する機会を多く持っている。 ・朝、登校指導をしている中で、遅刻してくる児童や車で送ってくる保護者の多いのが気になる。家庭の事情もあるのだとは思いますが…。 ・授業参観にはほとんどの保護者が出席しているが、学級懇談会や教育講演会への参加がとても少ない。子どもにとって大切な内容が多い。残ってもらおう手立てはないだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの実施などで、早期に子どもたちの課題や気になる点を把握し、解決に向け取り組んでいる。 ・登校時、声をかけても何の反応も示さなかったり、登校時刻を過ぎても急ぐ様子のない子どもがいる。表情の暗いときもあり気になる。学校でもきめ細かな対応をお願いしたい。 ・古い校舎ではあるが、修理・修繕をきちんと行っている。落ち着いて学習できる環境づくりに努力している。 ・放課後の子どもたちの遊びの中で、相手に発する乱暴な言葉づかいが気になる。教育活動全般を通して、子どもたちの心を耕し思いやりを育む学習を心掛けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・真面目に学習に取り組んでいるクラスが多い。しかし、やや覇気に欠ける子どもも見られた。子どもたち一人一人が学ぶ楽しさや喜びを味わえるよう一層の取り組みをお願いしたい。子どもたちにとって『学校が楽しい』と思えることが一番大切なことである。 ・校時表を見直し、学習タイム・読書タイム・スキルアップタイムなどを取り入れ素晴らしい取り組みを行っている。学力の向上に向け、更なる内容の充実をお願いしたい。 ・学習内容の定着のためには、生活リズムを整え家庭学習を定着させることが必要不可欠である。家庭との連携を更に強いものとしていく必要がある。
改善方法に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、学校、家庭が一体となって和佐の子どもたちを育てていきたい。そのためにも、子どもたちの様子や学校の様子をあらゆる機会を通して情報発信してほしい。 ・本年度は人権教育講演会に出席した地域の方も多かった。集会などの学校行事も連絡を頂ければ参観したい。 ・子どもたちのためであれば、できるだけ協力をしていきたい。これからも「開かれた学校」にむけ、取り組みを続けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人との出会いや体験がゆたかな心を育む。地域・学校・家庭の連携を更に充実・発展させてほしい。 （農業体験・高齢者施設や公民館との交流・地域の歴史学習・施設見学等） ・挨拶・掃除・当番活動などに、素直に真面目に取り組むことの大切さを学ばせてほしい。児童会の取り組んでいる「挨拶運動」は是非続けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの学力や生活力の向上につながる、保護者・地域・学校の連携をこれからも計画してほしい。 ・「読む」「書く」「話す」「聞く」「計算する」等の学習活動は学力を身に付ける上で基本である。子どもたちにしっかり定着させてやってほしい。 ・子ども一人一人が抱える課題は違う。それぞれに応じた取り組みをこれからも続けてもらいたい。

3 その他のご意見

・交通事故や水の事故が心配である。特に、登下校時、送迎の車の駐停車で子どもたちが路側帯を歩けない等危険なこともある。

・コミュニケーション力の不足から、人間関係を築けない子どもが多いと聞く。学校教育だけでなく家庭教育の重要性を強く感じる。どのような人間に育てたいか、親がしっかり見通して子育てをする必要がある。